

第2回 資本主義への発展と雇用制度

◎今回の要点：言葉の概念と歴史を知る：「労働」・「生産」・「企業」・「雇用」

○労働を考える

- ・動物と人間 人間：弱い存在、計画をもって、道具を使って、物を作り出す、モノ作りの喜び

○生産を考える

- ・機械体系の出現、原動機・伝導機・作業機、大量生産、生産力と生産関係

○企業とは何か

- ・物やサービスを作り出す組織体、資本家・経営者・労働者

○資本主義以前の労働とは

- ・奴隷制での労働、農奴制での労働

○雇用とは何か

- ・機械制大工業で、大量の労働者を必要とする、児童労働、土地囲い込み
- ・自由な労働者の出現、雇用関係・労働契約、指揮命令と賃金

○資本主義の発展と雇用

- ・産業革命と機械制大工業の発展：工場

○分業・協業とは

- ・分業：工程を分けて作業する 協業：大勢の人が集まって作業をする

○マニュファクチャとは

- ・工場制手工業： 機械体制の前に出現： 問屋制手工業

○機械体系で労働はどう変わったのか

- ・中断なく作業ができる：夜間労働、機械が主役・人は客体、労災

○工場法成立の歴史

- ・労働時間の制限、労働運動・労働組合運動、ILO・8時間労働制

○機械制大工業と労働

- ・社会的分業、工場内分業、肉体労働と精神労働、失業者、機械と人間・労働者、モノ作りの喜び

◎ビデオ

- ロバート・オーエン：ニュー・ラナーク 世界遺産